



支部活動報告

神戸西部支部

神戸西部支部は、「神戸市看護大学」「井吹台セリオホール」「狩口台住宅」「まいこ会館」の4拠点と、出前隊として子育て支援から健康相談、講座、体験など様々な活動を行っています。

活動する中で、地域の方々の健康に対する意識が高いと感じるとともに、様々な不安を抱えながら生活されているのがわかります。「まちの保健室」を心待ちにしてくださる地域の方の声も聞かれ、必要性を感じております。

今後も活動を継続するとともに、変化する地域のニーズに応えられるよう、委員会メンバーで活動内容を検討していきます。

まいこ会館

まいこ会館では、民生委員・児童委員協議会の方々を中心に、年3回(3月、7月、11月)、ボランティア活動を実施しています。参加者はおおよそ20~30名で、季節により多少の増減はありますが、開催前には地域へのチラシ配布を行い、多くの方に参加していただけるように工夫しています。

以前は、健康機器を使用した活動を行っていましたが、令和7年度から健康相談を中心とした活動のあり方について検討を行いました。健康機器の測定を楽しみにされていた地域住民の声も踏まえつつ、「まちの保健室」の原点である、気軽に相談できる場づくりに立ち返り、現在は健康相談を中心とした活動へ移行しています。今後は、相談を通じて地域の健康課題を把握し、よりニーズに沿った活動内容の充実を図っていきたいと考えています。

活動内容については地域の方々と相談しながら検討しており、フィットネスやヨガのインストラクターを招いた健康体操を取り入れたプログラムも企画されています。体を動かす機会の提供に加え、住民同士が顔を合わせて交流できる場としても機能しており、会場では和やかな雰囲気の中で交流が図られています。

看護職は、血圧測定やフレイルチェックを行いながら健康相談を実施しています。参加者の中には、ひとり暮らしや老々介護をされている方も多く、30分以上じっくりと相談される方もおられます。日常生活における不安や体調の変化について丁寧な話を聴くことで、必要に応じて医療機関の受診や、あんしんすこやかセンターにつなぐ支援を行っています。短時間の関わりではありますが、「話を聞いてもらえてよかった」と安心した表情で帰られる方も多く、地域住民の安心感の向上につながる活動であると考えられます。

今後も地域の方々と共に内容を検討しながら、誰もが気軽に立ち寄れる「まちの保健室」を目指し、活動を継続していきたいと考えています。



神戸西部支部ボランティア研修会

10月に、実際の活動の時に活かせる情報の共有と新規ボランティア募集を目的に、研修会の開催を行いました。

今年度は地域住民の健康ニーズと多職種協働を視野に入れ、理学療法士に協力を依頼し、保健室活動で取り組める軽運動の講義を追加しました。参加者からは有意義であったとの意見が多く、今後も継続、また新たな講義の検討をしていきたいです。一方で、登録者以外の一般参加者が少なく、新規のボランティア登録には至りませんでした。

次年度は、より多くの方に知って頂くため、ボランティア研修の内容を早期に決定し、早からの広報に努め、効果的なボランティア募集の方法を検討していきたいです。



神戸西部支部では、さらなる活動の充実を目指して、ボランティアを募集しています。

令和7年4月からは、地域住民の皆様により質の高い相談業務を置くために、測定機器を使用しない方向での活動へ変化し、住民一人ひとりの声を大切にサポートしていきます。

あなたが日頃何気なく行っている活動も「まちの保健室」の活動ではありませんか？

空いた時間におうちの近くの拠点や出前隊での活動、参加できる日のみでも構いません。

ぜひ一緒に「まちの保健室」を盛り上げて、地域の方々の健康支援をおこなっていきましょう。お待ちしております。

ご応募
お待ちしております

